

医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院



O's News

2024
12

本院外来でも健康な60歳以上女性の4割以上の方が骨粗鬆症を
発症されていました。

副院長 脊椎・脊髄センター長 山本 慎司

今や**国民病**の一つである**骨粗鬆症**ですが、加齢に伴い全身の骨がもろく簡単に折れてしまう病気のこと、女性はもちろんですが男性にも生じます。人口の高齢化に伴い骨粗鬆症の患者さんも増加の一途で、現在我が国でも**1300万人**が発症しており、高血圧、高脂血症に次いで3番目に多い慢性疾患です。残念ながらそのうち正しく診断され治療を受けている方は**2割程度**しかおられません。

高齢者の骨粗鬆症による骨折は背骨や大腿骨の付け根に起こることが多く、手術や長期間の安静、リハビリテーションが必要となることが多いです。そのために体力筋力の低下や認知機能の低下も進み、姿勢が悪いために骨折が治癒した後も痛みが残りやすく、転倒しやすくなります。多くは1年以内に隣の背骨や反対の大腿骨の骨折も発生し、あちこちの骨が2個3個とドミノ倒しのように折れてしまいます。介護が必要となる人の5人に1人がこうした骨折によるものとされています。これは脳血管障害（脳卒中）で介護が必要となる人と同程度で、高齢者が多いためにもともと内臓機能の低下も伴っているため、生活の質の低下だけでなく**寝たきりや死亡に至る危険も急激に上昇**します。しかも人口高齢化もありこの20年間で大腿骨の骨折件数は倍増しており、今後しばらくは骨折患者の増加が続くことが予想されます。現在の超高齢化社会において深刻な問題であり、特に女性は閉経後に急速に骨粗鬆症が進行するために、このような骨折を生じる前にできるだけ早期から定期的に検査を行い、治療を開始することが非常に重要なのです。しかし、まだまだ世の中に知れ渡っていないのが現状で、本院でも背骨の骨折を生じて初めて診断を受ける方が非常に多い状態です。本院外来診察で検診目的に初めて骨密度検査を受けられた健康女性約1000人のデータでは、60歳以上で43.8%

が、80歳以上では65.9%の方が骨粗鬆症を発症しておられる結果で、誰もが知らないうちに発症されていても不思議ではないのです。

骨粗鬆症の有無は、**骨密度検査（骨塩定量測定）**にて容易に調べることが可能で、本院でも専用の骨塩定量測定装置を用い腰椎と大腿骨の同時測定で正確に診断しています。全く痛みを伴うことなく、ベッドの上で5分程度安静にしているだけで測定でき、費用も血液検査1回分程度です。**本院では事前に予約を行わなくても当日に検査を受けることが可能です。**骨粗鬆症の予防、治療には、食事や運動などの生活習慣の改善と薬物治療を組み合わせで行います。最近は強力な治療薬も登場し、以前より有効な治療が可能となっています。

残念ながら背骨の骨折を起こしてしまったら、本院でもいろいろな薬物治療、安静、コルセット装着、経皮的バルーン椎体形成術(BKP、いわゆるセメント治療)や固定術などの手術を組み合わせ、早期に痛みを取り除き、体力筋力や認知機能の低下をきたさないように全力で治療を行います。何はともあれ人生全体の健康や幸福のためには、まずは血液検査などと同じように**定期的な骨密度検査**を受け、骨粗鬆症の**早期発見、早期治療開始**に努めることが一番重要です。ぜひ診察時に担当医へお気軽に骨密度検査をお申し出ください。



本院での骨塩定量検査

所用時間は約5分
痛みも伴いません

12月(師走)

今年のカレンダーも最後の一枚となり、なにかと気ぜわしい年の暮れ。冬景色の街もイルミネーションが輝き、華やかな季節♪



12/2~6(六十候) 橘始黄 / たちばなはじめてきばむ

不老長寿の象徴、永遠の繁栄をもたらすものとして古来から珍重された。橘が黄色く色づく頃。日本古来の代表的な「姓」として、「源平藤橘(げんぺいとうきつ)」という「四姓」がありました。平安期以降に権勢を誇った氏族、源氏、平氏、藤原氏、橘氏を総称、格の高い姓とされました。



12/7~10(六十一候) 閉塞成冬 / そらさむくふゆとなる

「短日(たんじつ)」冬の日の短かさ、夕暮れの早さを指す言葉、家路を急ぐ冬の日です。一年のお礼を含めお世話になった方々へ贈る「お歳暮」。古くからお正月にご先祖様の霊をお迎えする「御霊祭」の供物を贈り合う習慣が由来といわれます。新年の準備を始める「事始め」の12月13日から遅くとも20日までに。先様の笑顔を思い浮べ〜(^^)

寒波の影響で、いちだんと寒さが厳しくなる頃。山々も雪に覆れます。

12/11~15(六十二候) 熊蟄穴 / くまあなにこもる

熊が冬眠に入る時期。冬眠中のリスなどは、大きな音やさわっても起きない深い眠りなどに対して、「冬ごもり」とも言われる熊の「冬眠」はとても浅い眠りで、なんとその間に「出産」も! 3~4ヶ月の間飲まず食わずで排せつもなしで過ごす熊。冬眠に入る頃の熊は毛皮の下に7~8cmの脂肪を蓄え、松脂を食べて肛門をふさいでしまうのだそう。驚きです。



12/16~20(六十三候) 鰻魚群 / さけのうおむらがる

アイヌ語で鮭は「カムイチュプ(神の魚)」。北海道や東北の人々は、鮭の遡上に感謝し、豊漁を願う鮭祭りを受けついでいます。6月に実を結ぶ枇杷(びわ)。12月にゴワゴワしたクリーム色の花弁が集まった花を咲かせます。



12/21~25(六十四候) 乃東生 / なつかれくさしょうず

草木の枯れるこの時期に、緑の芽を出している夏枯草(かこそう)。クリスマスシーズンに、華やかな赤色で窓辺を明るくしてくれる「ポインセチア」。真っ赤な花びらのように見える部分は「苞(ほう)」、花はまん中の黄色い部分です。日本名を「猩々木(しょうじょうぼく)」。「猩々」とは、赤い毛におおわれた大酒飲みの想像上の動物です。



冬至に「ゆず湯」に入る週間。江戸時代から、冬至を湯治(とうじ)にかけたともい

12/26~30(六十五候) 麋角解 / さわしかのつのおつる

師走の忙しい毎日、いよいよ年の瀬を迎えます。お正月の「おせち料理」。あるアンケートによると、用意する手段として「セットを購入」が43%、「手作り」と購入が半々」が19%「ほぼ手作り」が13%「用意しない」25%という結果に〜。来たる年もどうぞよい一年でありますように。



その1 ネギ物語

寒さが増す冬に美味しい「ネギ」、お鍋に、炒め物に、薬味として、日本の食卓で大活躍♪ 中国から渡り奈良時代には食べられた「ネギ」。寒い地方に適した「白ネギ」、寒さに弱い「青ネギ」、両方の性質を受け継いだ「中間種」。中国での産地の特徴がそのまま日本にも影響し、東日本では「白ネギ」西日本では「青ネギ」に分かれていったと言われていまず。ちなみに中間地域の愛知県特産の「越津ネギ」は見事に中間種青ネギ白ネギが半々となっているネギです。ネギの種類は500種程もあり、その栽培方法、味わい方も様々。性別を問わず、ネギ好きな人の割合は63~65%だとか一。 つづく(^^)



外 来 担 当 医 表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋(顔)	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後	高橋(血)	大西(宏)(血)	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前	前岡	岡本	角田	富士井	酒井
	午後	前岡	岡本	角田	祖父江	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
	午後	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	—	担当医(血)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	麻酔科 鈴木
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 樹下	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 樹下	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田(FUS)

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 6診 麻酔科 鈴木 (2024.12)
※第1・3週金曜日9:30~12:30,13:30~16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.99

溝口内科

院長:溝口 貴裕



【認定資格・所属学会】総合内科専門医、認定内科医、循環器専門医、超音波専門医、日本内科学会、日本循環器学会、日本超音波医学会

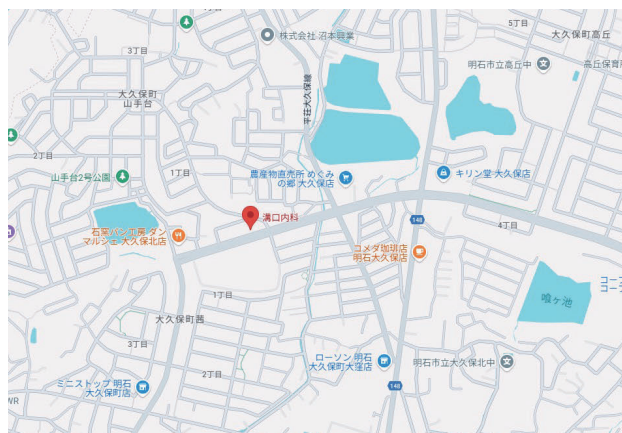
【診療科目】内科・循環器内科

【住 所】明石市大久保町茜1-1-20

【電 話】078-965-6100

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



溝口院長からのメッセージ

患者様の急変時に脳神経専門病院として非常に心強い病院です。これからもよろしくお願ひ致します。

No.260

平林耳鼻咽喉科クリニック

医師:平林 まり

【認定資格・所属学会】日本耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医、日本めまい平衡医学会認定 めまい相談医、日本耳鼻咽喉科学会認定 騒音性難聴担当医、日本耳鼻咽喉科学会認定 補聴器適合判定医、日本耳鼻咽喉科学会、日本めまい平衡医学会、日本鼻科学会

【診療科目】耳鼻咽喉科

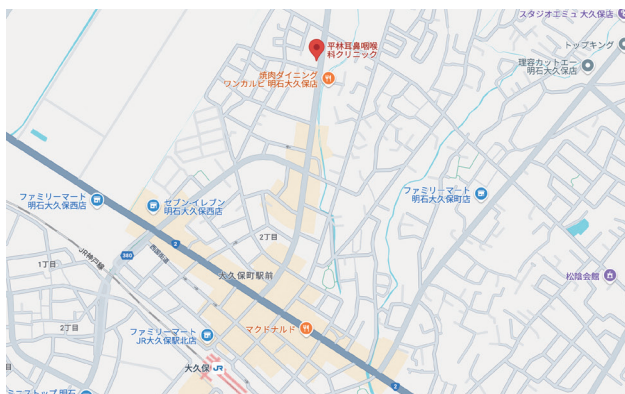
【住 所】明石市大久保町大窪445-1

【電 話】078-934-4133

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	○	/	○	/	○	△	/	/

△:診療時間は9:00~12:00

休診日:火曜、木曜、日曜、祝日(月曜日祝日の場合、翌日火曜日診療有)



平林医師からのメッセージ

2013年開業以来、微力ながら地域医療に献身しております。特にめまいを含む耳や鼻の疾患は頭蓋内との関連も強い為、さらなる精密検査を要する場合には大西脳神経外科病院との連携にて徹底サポート出来るよう心がけております。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之

